

STEAM教育推進事業

取組方針

- ・生徒の挑戦意欲を育む「総合的な探究の時間」の具体的な授業を実践し、「探究的な学び」の質の向上を図る。
- ・探究サポート体制を強化し、STEAM教育を通じて、課題発見・解決力やデータサイエンスなどの力を育み、地域課題や社会問題の解決ができる人材を育成する。

①探究学習の基盤「データサイエンス力」の育成（対象：高校1、2年生）

- データサイエンス実践講座（6月実施）
 - ・専門家による講演からデータの基本的な扱い方や実社会との関わりを学び、データの整理分析力の向上を図る。
 - ・STEAMをベースにしたワークショップによる課題解決思考の体験やデータサイエンスを通じて、事象を観察分析することで問題の解像度を高める。
- 探究力の育成強化に取り組む学校に対する支援（**拡** 通年）
 - ・現行の学習指導要領の課題として、「データサイエンス」は文理を問わず、生成AI時代に不可欠な基礎的な素養であるとされている。
 - ・大学入試における「総合型選抜」「学校推薦型選抜」入試の割合が年々高まっており、探究的な学びの充実が生徒の進路実現を支えている。
 - ・データサイエンスを活用した探究的な学びの質を高めるため、大学・企業との連携や各高校において実施する研究等を促進する。

②生徒の挑戦意欲の醸成 学校・学年を超えた取組（対象：中学生、高校1、2年生）

- STEAM課題研究特別講座（半年間を通し参集・オンラインで実施）
 - ・個々人の興味領域を深掘りし、学校・学年の垣根を超えた4,5人×10班程度に分け、半年間を通じて研究を行う。
 - ・専門領域の企業・専門家に加え、県内外の大学との連携を強化し、問題発見、課題設定に関する講義やアドバイスを受ける。（東京大学 先端科学技術研究センター等）
- OITA FUTURE SPACE JOBS
 - ・宇宙を舞台に活躍する国・県・企業の方々とともにワークショップを実施し、宇宙産業に関わる仕事の魅力や可能性を知り、多様な人材の育成を目指す。

③アウトプットの場の確保（対象：高校1、2年生）

- 大分STEAMフェスタ(1月末実施)
 - ・先端技術や宇宙技術、生成AI等のトップランナーによる講演と意見交換
 - ・年間の課題研究講座の取組みの成果発表、先端技術を活用した学びの場の推進（宇宙、生成AI、未来食、未来の授業等に関連したワークショップの実施）

④探究的な学びに係る指導スキルアップ

- 教員向け統計学スキルアップ講座
 - ・「総合的な探究の時間」や「課題研究」等の授業の指導において必要となるデータサイエンスに関する実践的な手法を学ぶ。
- 教員向けPBL（Project Based Learning）実践講座
 - ・STEAM教育の推進や探究活動を推進する手法に関する実践講座。
- 教員向け「総合的な探究の時間」「課題研究」事例発表・情報共有・研究会
 - ・各校における「総合的な探究の時間」及び「課題研究」の実践事例の発表・情報共有・研究会を実施。

共通事項

- 事業全体の取組に対して、STEAM教育推進コーディネーターの設置（企画・立案・進捗管理）
- 特設HPでの取組事例の配信や、教員向けに情報共有・事例紹介の発信等

生徒向け

教員向け